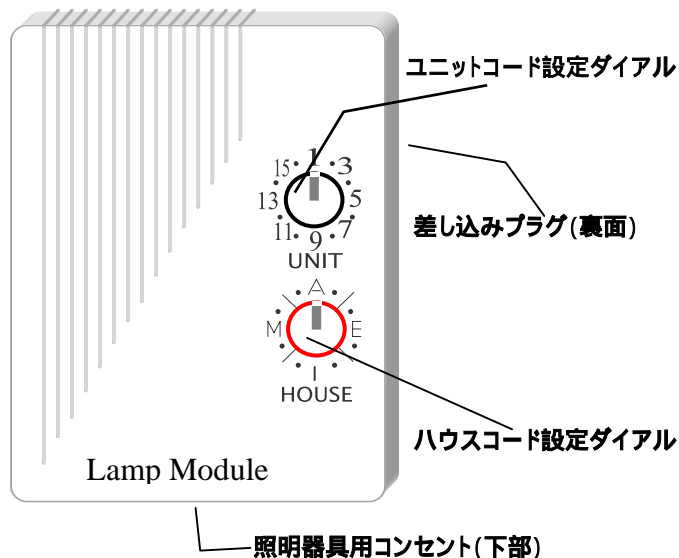


# パワーライン・リモートコントロール

## 照明用アダプター F7LM465 取扱い説明書



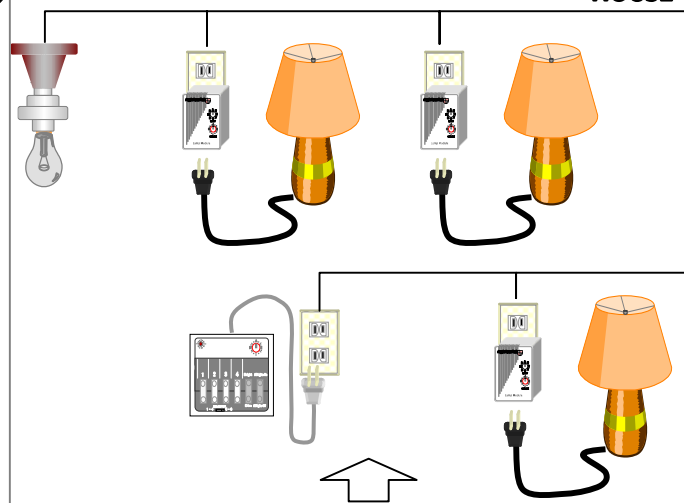
**ユニットコード設定ダイヤル** - 1~16 の範囲で、このアダプターを取り付ける照明のユニットコードを設定します。

**ハウスコード設定ダイヤル** - A~P の範囲で、ハウスコードを一つ決めて設定します。

下部にある**照明器具用コンセント**にしっかりと照明器具のプラグを差し込み、照明用アダプターの裏面のプラグを壁のコンセントにしっかりと差し込みます。

接続できる照明機器は 300W までの白熱電球やハロゲン電球(100V タイプ)です。蛍光灯、12Vタイプの照明器具等には照明用アダプターを使用しないで下さい。電球タイプの蛍光灯は常時電流が流れるタイプがあり、その場合は正しく動作しない事があります。

1. コントローラのハウスコードを、A から P の間で設定して下さい。
2. 照明アダプターにユニットコードを、1 から 16 の間で設定して下さい。
3. アダプターのプラグをコンセントに差し、照明器具のプラグをアダプター下部のコンセントに差します。
4. コントローラ側のハウスコードをアダプターと同じハウスコードに設定します。
5. アダプターのユニットコード番号と同番号が記載されたコントローラのボタンを押すと、そのユニットコードが設定されたアダプターの照明を操作できます。
6. 複数のアダプターが同じユニットコード番号に設定されている場合、全て同時に操作されます。



### パワーライン・リモートコントロールのしくみ

操作したい照明にアダプターを設置し、番号を設定します。コントローラーをコンセントに差し、“1のアダプターをON”“2の照明を調光”などの信号を、コントローラーから家中の電気の屋内配線を通じて、それぞれのアダプターへ送り、制御しています。(電力線搬送)

### 使用上の注意:

当製品はコントローラーと各種アダプター間のリモコン信号の送受信を屋内の交流 100V 配線を通して行っています。その為、分電盤のブレーカーで二系統以上の電灯線に分かれて配線されている場合、ブレーカーにより隔てられた配線間の信号通信が難しくなることがあります。なるべく、同一回路内で使用してください。

又、電灯線内の交流電源に種々の雑音が入っている場合があります。このような場合もリモコン信号の送受信の障害になります。それらの雑音は家庭内では、古くなった蛍光灯装置や家電等から発生していることが多いです。そのような場合は、コントローラのボタンを長めに押すか、2度押すことによってほとんど解消します。それでも動作しない場合は、原因になっていると考えられる家電をノイズフィルター付きの電源タップに接続することで解消することがあります。

**注意：この製品の保証期間は6ヶ月です。**

リモコンショップ フリーコン  
(株)CIS Japan

〒105-0014 東京都港区芝 3-20-4 大月ビル 3F  
Tel:03(5443)9958 Fax:03(5444)5874  
e-mail:info@freecon.co.jp  
http://www.freecon.co.jp